

活用調査表

様式6

技術名 L型擁壁の安全・完全・省力化【SPL】据付施工法	登録 No. 18D1041
-------------------------------------	--------------------------

施工内容

工事名 : 平成18年度 一般国道148号県単道路改築(道路)道路改良工事

施工数量 : コンクリート擁壁工 62m

工期 : 自 平成19年 2月 6日
至 平成19年 12月 12日

概要

延長 88.8m
(有効)幅員 6.5(8.0)m
ブロック積工 36m²
側溝 138m
標識工 1式
コンクリート擁壁工 62m

特徴

- ・滑動抵抗が大きい為、擁壁のスレがない。
- ・専用治具による施工の為、「工期短縮」・「コストの低減」につながる。
- ・クレーン作業に於ける「飛来・落下災害」の大幅な低減。

実施結果

比較した従来技術
「プレキャスト擁壁設置工」
・専用治具の使用により、モルタル敷均しが不要となり、従来技術に比べ据付作業が簡易となった。
その結果、
・工期の短縮
・労務費及びクレーン費の低減
・精度の高い出来形
・モルタル敷均しにかかる作業員の負担軽減などが図られた。

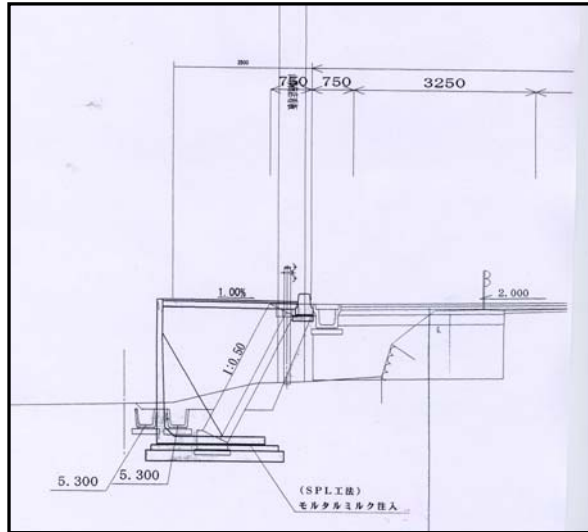
トライアル工事での評価結果

◎ 経済性	○ 安全性
◎ 工程	○ 施工性
○ 品質	□ 環境

◎:優れている ○:やや優れている
□:従来技術と比べて同程度
△:やや劣っている ×:劣っている

新技術問い合わせ先

会社名 : 藤林コンクリート工業株式会社
所属部課: 技術開発部
担当者 : 霜田 崇
TEL : 0257-24-3371



活用調査表

様式6

技術名	登録 No.
	18D1041

施工内容

施工年度	平成20年度
発注機関	新潟地域振興局津川地区振興事務所
工 事 名	一般国道459号 地域自立活性化(国道改築)道路改築工事
施 工 地	東蒲原郡阿賀町鹿瀬
施工数量	L=36m

新技術の概要

擁壁底版と基礎コンクリートとの間の敷きモルタルの箇所にスラリーモルタルを注入・充填することにより、底版と基礎コンクリートの密着性が高まり、滑動安定性が増加する。また、専用器具を用いることで据付の微調整が可能となり、据付にかかる手間が低減される。

トライアル工事での評価結果

比較した 従来技術		L型擁壁設置工
項目	評価	評価内容
経済性	○	積算上のコスト縮減額は約4%程度であるが、効率的な施工により現場の施工コストはさらに縮減される。
工程	○	モルタルの敷均し及び擁壁の据付の作業量低減により、約22%の工期短縮。
品質 出来形	○	据付作業の向上により、精度の高い施工が可能。 擁壁との密着性が高く、滑動抵抗が向上。
安全性	○	クレーンによる吊荷作業が低減するため、「飛来・落下災害」の発生が減少。
施工性	○	モルタル敷均し作業及び擁壁の据付作業の低減により、作業員の負担が減少。
環境	□	従来技術と変わらない。
その他		

◎:優れている ○:やや優れている
□:従来技術と比べて同程度
△:やや劣っている ×:劣っている

活用上の 留意点	充填前にスラリーモルタルの配合 の確認が必要。
-------------	----------------------------

新技術問い合わせ先

会 社 名	藤林コンクリート工業(株)
所属部課	技術開発課
担 当 者	霜 田 崇
T E L	0257-24-3371

L型擁壁断面図

